



自動車リサイクル士がつくる、外はシートベルト  
中はエアバッグの環境にやさしい最強バッグ

## 車の解体工場 株式会社ギヤ (GEAR)

藤岡市

代表者：上村正則  
設立年月日：2016年4月8日  
資本金：300万円  
従業員数：2人

住所：藤岡市中島493-5  
TEL：090-8856-7376  
Mail：gear\_kamimura@ybb.ne.jp  
URL：https://gear-g.jp



WEBサイト

### ● 事業者紹介

社名の“ギヤ”は「資源の歯車」という意味です。自動車の解体では自動車リサイクル法を順守した、再資源や再部品のリサイクルが当たり前の時代となりました。環境保護や資源リサイクルの観点から、当社は廃棄するのではなく、再利用して新たな価値を生み出し、リサイクルとアップサイクルによる自動車の解体を実践しています。



### ● 経緯・背景

自動車の保有台数が全国でも上位の群馬県は、解体される車の台数も全国上位です。自動車解体では、まだまだ利用価値のある材料がたくさんあり、シートベルトやエアバッグを再利用した商品など、様々な角度から新しいアイデアを形にしています。新しいアイテムを生み出すことが、環境問題の解決に繋がると考えています。



### ● 具体的な取組や成果

#### 1%の産業廃棄物を限りなく0%に近づけるため 廃車から新たな価値を生み出し、商品開発・製造・販売を行います

自動車の解体リサイクル率は、資源再利用55%、再部品リユース28%、熱源の再利用16%、シュレッダーダスト（ごみ）1%で、産業廃棄物として埋め立てられます。この「シュレッダーダスト（ごみ）の埋め立て1%」を、いかに「0%」に近づけられるかを考えたとき、新しい価値感を生み出すためにリメイクしたアイテムを販売しようと、エコでリメイクな販売店「エコリメ」の立ち上げを思い立ちました。

飽きのこないシンプルなデザインと、普段使いでもアウトドアでも使えるタフな機能を備えたトートバッグの制作は、素材選びから縫製まで、一つひとつ手作業で仕上げた一点

もので、細部にまでこだわり抜いた、おすすめのアイテムです。中でも、車内で物入れとしても使用できる、エコなポケット「エコポケ」は、令和3年度のグッドデザインぐんまで「審査員特別賞」を受賞。デザインや縫製の技術を一から学び、試行錯誤の末にやっとできた、アップサイクルな商品として、新しい価値を生み出しました。

シートベルトとエアバッグで製作したECサイト  
▶ギヤ公式ウェブサイト：<https://gear-g.jp/>



再利用、洗浄、縫製すべてがエコで、新たな価値としてリメイクされた商品が並ぶ「エコリメ」の実店舗



オリジナル商品「エコポケ」が、令和3年度の「グッドデザインぐんま」で審査員特別賞を受賞

#### 当社にとってのSDGsビジョン

##### 産業廃棄物の削減を目指し 魅力的なアイテムを作り出す

今後は自動車に限らず、ほかの廃材からも新たな価値を生み出し、アイデアを形にしていきます。また、SDGsに積極的な業界、業種であることから、企業や個人の枠を取り払った取組にもチャレンジし、販路開拓と弊社の認知向上を目指します。そのために、SDGsの教育の一つとして、夏休みに「SDGs子供ワークショップ」を開催します。

#### 今後の展望と求めるパートナー像

##### 廃材利用のワークショップで 実践的に環境問題に取り組む

廃材を利用した「SDGs子供ワークショップ」を開催し、楽しみながら地球環境や社会環境を考え、体験した子供たちの将来に役立つ経験を創るSDGs教育に力を入れています。こうしたイベントに賛同いただける、同業種の自動車メーカーや各販売店、学校関係と協働していきたいです。